

# 日本民家園 花便り 11月号 (1)

## ～暮らしと植物～園内の収穫



江向家・北村家の畑から収穫した野菜 (10月23日)



### ラッカセイ (落花生)

日本では明治時代になって油を利用する目的で本格的な栽培が始まりました。園の落花生は、極大粒実の「おおまさり」です。



### サトイモ (里芋)

日本各地に野生化したサトイモがあることから、日本への伝来は縄文後期と考えられています。コンニャクもサトイモの仲間です。



### コンニャク (蒟蒻)

江戸時代にコンニャクの製粉が始まり、コンニャクが全国的に普及しました。製粉発祥地の茨城県には「蒟蒻神社」があります。



### トロロアオイ (黄蜀葵)

トロロアオイの根は潰すとたくさんのネバネバ成分を出します。紙漉きの際、このネバネバが原料繊維を水中で均一に分散させる役割を果たします。トロロアオイのほか、アオギリの根、ノリウツギの樹皮なども使用されます。